

IRB番号「2021-GB-084」

研究課題名「デジタル病理画像を用いた臨床病理学的推論プラットフォームの開発」

1. 研究の対象

1946年1月1日から2027年3月31日までのがん研究会（癌研究会）において病理組織検体を採取された方

2. 研究の目的・方法

近年、病理組織検体より得られる組織画像のデジタル化技術が進歩しています。組織画像から特徴量を人工知能(AI)が抽出することによって、今までは難しかった様々な臨床課題に対応することが可能となり、予後や遺伝子変化も組織画像のみから予測することができるようになっています。ただ、臨床における実用化には、まだクリアすべき課題が残っています。一つは、人工知能がどのように判断を下しているのか、という点が不明（ブラックボックス）であると、医療の安全性に関わります。もう一つは、本来AIを用いる場合は、患者さんごとに存在する多様な情報と病理画像データを統合して解析を行うことが理想的ですが、現状では各臓器や疾患など、それぞれの課題に応じて開発が行われており、疾患の本質に迫るには効率的ではありません。

本研究では、がん研究所病理部の保有する豊富な組織画像データと臨床病理学的な構造化データの利活用により、特定の臓器に限定することなく臓器横断的な課題に対応できる、汎用性の高いプラットフォームの開発を目指します。これによって、より精度の高い予後の予測など、臨床に有用な情報を提供できるようになることに加え、ブラックボックスであるAIの思考をできるかぎり患者さんにも理解してもらえるような形とすることができるとも思われます。

3. 研究期間

承認日 ～ 2027年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：デジタル化組織画像

試料：病理組織標本（スライドガラス）

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院

〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号

研究責任者 病理部（研究所） デジタル病理担当部長 山本 智理子 （研究責任者）

連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141